



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

ゴールデンウィークを終えて

コロナ禍前の行動には戻せませんが、今年のゴールデンウィークは県外との交流や飲食の制限等が緩和され、3年ぶりに家族や親戚、友達との楽しい時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。一人一人の自覚ある行動が緩和に繋がったことを理解するとともに、引き続き感染防止対策を講じながら、許されることに取り組んでいきましょう。

また、連休を利用し、市郡総体やコンクールに向け、部活動に真剣に取り組む姿も見られました。練習試合ができるようになり、多くの運動部では南予管内を中心に他校との交流を図ることができたようです。運動部にとっては、最大の目標としている市郡総体がもう3週間後に迫りました。後悔しないよう最後のまとめをしっかりと行い、やり切ってほしいと思います。

特に、大会が実施できなかつた一昨年度、無観客で開催された昨年度の先輩の思いも受け止めながら頑張っていきましょう。

なお、今年度の市郡総体の制限等については、今後、話合いが進められます。決まり次第、お知らせしていきますので、御協力ください。



PTA本部役員会・合同部会お世話になりました

6日(金)に行ったPTA本部役員会・合同部会お世話になりました。お陰様で、1年間の見通しを立てることができました。また、快く部長や副部長をお引き受けいただいた皆さん、ありがとうございました。1年間、よろしく願います。

なお、今年度は、いろんな行事ができることを大前提に、生徒の学びを保障するために、学校と家庭がより連携して、PTA活動に取り組んでいきたいと思えます。PTA会員の皆様には、御心配や御迷惑をお掛けいたしますが、引き続き、お力添えいただき、生徒の成長を支えていただきますようお願いいたします。

1人1台のタブレットを有効に活用していきます

何度もお知らせしておりますが、コロナ禍における学びを充実させることもあり、GIGAスクール構想が前倒しされ、一昨年度末に1人1台のタブレットが準備されました。本校では、今までの指導方法に加え、タブレットを活用した授業改善に努めており、多くの授業で積極的にタブレットを活用しています。生徒の学びに向かう力を高める大きな鍵となっており、利用頻度を上げながら、授業を進めていきたいと思っております。

なお、2・3年生については、昨年度、タブレットを家庭に持ち帰り、家庭で使えるかどうか、確認しました。家庭での利用については、今年度も、Wi-Fiの整備されている家庭は家庭のWi-Fiを利用していただき、整備されていない家庭には、内子町からモバイルWi-Fiが貸与されます。持ち帰りを行う場合は、事前に御連絡いたしますので、お知りおきください。

一人の百歩より百人の一步

今回は、日本電産の永守重信さんの言葉をいくつか紹介します。考えさせられる言葉も多く、昨年度に続き、紹介させていただきます。

日本電産の経営の原点である三大精神は、「情熱・熱意・執念」、「知的ハードウェアキング」、「すぐやる 必ずやる 出来るまでやる」です。

その考え方の中には、

- 苦勞こそ財産。苦勞には有形・無形の利子が付いてくる。
 - 「一人の百歩より百人の一步」
 - 当たり前のことを当たり前になり、その日にやるべき事を翌日に残さないこと。
 - 人の能力は2～3倍の違いしかないが、やる気・意欲・意識の差は百倍の開きがある。
- 等があり、学習や諸活動でも通じることがあるように思います。是非、参考にしてみてください。

これらの言葉が、内中生が誰も見たことのないその先へ進むための一助になることを願っています。（教職員のつぶやきコーナーより）

ついに100号発行を達成できました！

令和2年4月1日に母校である本校に着任し、自分なりの形で学校の方針や生徒の活躍の場を伝えたいと、校長室だよりを発行しています。

また、教頭先生にも協力いただき、HPにも掲載し、保護者の皆さん、学校関係者、そして地域の皆さんにも見ていただけるようにしております。内容的には、決して十分と言えるものではありませんが、コツコツ取り組むことで、今回、取りあえずの目標としていた100号を何とか達成することができました。引き続き、次の目標を150号に設定し、地域に開かれた学校づくりを進めていきたいと思っております。どうぞお付き合いください。